令和6年度 丸亀市図書館協議会 第2回会議 会議録

1. 日 時 令和7年2月19日(水) 午前10時～11時30分

2. 場 所 丸亀市立中央図書館1階会議室

3. 出席委員(五十音順)

亀 山 京 子
古 村 博 子
詫 間 裕 一
中 俣 保 志
新 禮 子
真 鍋 真 紀
山 崎 洋 子

4. 欠席委員

香 川 真 実

5. 事務局

図書館 館 長 氏 家 雅 子
図書館 次 長 藤 本 仁 美
図書館 関 野 真 樹

6. 傍 聴 者 なし

7. 開 会

- ・当該会議録について、市ホームページに掲載する旨を告知
- ・協働推進部長は公務のため欠席

8. 会議の成立

- ・過半数委員の出席により、会議成立

9. 館長あいさつ

年度末のお忙しい中ご出席いただきお礼申し上げます。本日は令和7年度の図書館事業につい

て、主に3月1日から開館予定の電子図書館について説明しご意見をいただきたい。

10. 会長あいさつ

事務局の説明に対して、忌憚のないご意見をいただきたい。

11. 議 事・質 疑 等

(1) 令和7年度の図書館事業について

・事務局 令和7年度 図書館事業について説明

- ① 電子図書館について
- ② 第5次子ども読書活動推進計画の策定について
- ③ こども図書館船への協力について
- ④ 丸亀市制施行20周年事業への協力について

・委員 電子図書館の導入の際に委託業者に委託するのではなく、独自で実施されるのか？

・事務局 電子図書館のサービスを提供してくれる業者に委託している。

・委員 日本で約3事業者が電子図書館を推進しているが、本市の委託業者は図書館の本の流通のためにつくられた組織であることから、丸亀市の選択は長期的に考えると悪くないと思う。

・事務局 提供してくれる電子図書の数が多いことと、読み放題を入れたいという観点からこの業者を選択した。

・委員 新刊図書について貸出期間の延長はできるのか？

・事務局 図書館の利用と同様に予約がなければ可以的。

・委員 島の中学校では毎日、小学校では週に2回、朝読をしている。中学生が1名在籍しているので卒業するまでに電子図書館を利用させたい。丸亀市は「人づくり石垣プロジェクト」という5か年計画で英語教育に力を入れている。英検に関心のある子どもたちについても電子図書館の利用ができるのではないと思う。

・委員 丸亀市内の全小中学校で、一斉に電子図書館の研修をするのは難しいと思う。要望がある学校について出前講座等で対応していかれるとのことで大変ありがたい。子どものタブレットの利用が年々増え、家庭内でもスマホ、パソコンの利用時間が増えていることから、ゲームより電子図書を読む習慣ができることは望ましい。図書館のカードを持っていたら、家庭でも気軽に電子図書を読めるのは良いことだと思うので、学校においても電子図書館を利用するよう周知していきたい。チラシは広報と一緒に配布するのか？

・事務局 市広報には電子図書館の内容をわかりやすく掲載し、チラシについては、新年度に生徒全員に配布したいと考えている。

・委員 学校での活用と個人利用は分けて準備を検討する方がよい。3月1日から個人の

利用がはじまるので、生徒全員への周知は先に行い、学校活用は各学校の利用環境に応じて対応していけばよい。

- ・事務局 学校での利用に関しては、教育委員会等に相談し対応したい。
- ・委員 島の小中学校は人数が少なく、貸出カードを皆が持っているので、電子図書館の利用の仕方について早速教えに来てほしい。子どもたちの個人利用の使用感などや、参考になることがあるかもしれない。
- ・事務局 簡単な説明ですぐ使えると思う。島に伺い対応したいと思う。
- ・委員 学校と個人の利用は分けて行程を準備した方がよいと思う。小規模校で実験的に実施するのは、現実味があるので賛成である。今後、学校の端末用の ID を準備して、学校用であると認識させた方がよい。小学校の国語の学習指導要領の調べ学習の課程が入り、学校図書館や辞書等の調べ方、出典という言葉の意味が小学校 3、4 年生でならう。学校司書が学校図書館で百科事典の調べ方を教えているので、学校とデータ管理をしている先生と調整した方がよい。小規模校から実践し、学校サービス用の対応については打ち合わせが必要になると思う。
今後は、予算の中に学校で利用できるものを入れるか、もしくは別に予算をたて、学校と連携する市立図書館という位置づけを確保していくのもよいと思う。絵本や児童書は傷みが早いので、電子図書館で対応した方がよいかもしれない。同様のことが予算の少ない学校図書館の書籍にも言えるのではないか。読み放題のコンテンツの中で学校教育に使えるものを入れたら、将来的に丸亀市の教育にプラスになると思う。例えば百科事典や児童書、自然科学系など調べものに役立つものを入れるよう予算的に検討すればよいと思う。
- ・委員 学校で利用した電子図書の冊数のカウントは？個人で利用した冊数と、学校の端末を使用して利用した冊数はどのように集約できるのか？
- ・委員 アカウントを分けたら集約できると思う。
- ・事務局 統計は取れると思う。
- ・委員 実際の図書館の利用人数が減っても致し方ないのか？
- ・事務局 図書館として利用者の人数が 2 本立てになる。
- ・委員 図書館の窓口利用は、60 代以上の男性が圧倒的に多い。その次に 30～40 代の親子連れが多く、紙と電子の本はどの年代が多いか、統計的に見ていけば、効率的に紙と電子の本の購入を計画することも可能になる。電子図書館の活用をきっかけとして、図書館の利活用に統計を役立てるのは賛成である。
- ・事務局 最初に電子図書館を導入するにあたり、「来なくて良いサービス」ということで、普段図書館に来れない方々が興味を持ってもらえるよう選書を進めた。バランスを考えながら 800 点位購入したが、今後も様々な意見を聞きながら、統計も参考にしながら選書を行っていききたい。
- ・委員 良い値段で電子図書を買われたと思う。一冊あたり 4700 円でそのうち読み放題が 287 点もあって、結果的には 4700 円を下回ることになると思う。
- ・事務局 1,000 点を目標に選書を行ったが、新刊や新しい情報の入った問題集や資格取得

の本を選択したのでこの単価になった。

- ・委員 電子図書館の導入により、人的資源の効率化、見えないところで窓口業務の簡略化ができると思う。そういう意味においても高い買い物ではなく、これからバージョンアップしていけば可能性がどんどん広がると思う。
- ・委員 こども図書館船ほんのもり号についておうかがいしたい。船に本がたくさんあり子どもたちや島の人たちが本を読む姿を想像してわくわくしている。寄港した際には図書館もイベント等で協力し、参加した人々には本を手にとってほしい。そして、夜は電子図書館を利用してほしい。
- ・委員 家から図書館が近く、実際にはリアルな本を読む方が良いが、電子図書についても挑戦してみたい。
- ・委員 日本でも 2018 年から図書館の目録の記載方法が大幅に変わった。海外の仕様で行われている。目録の記載方法は、電子図書館が進めば、そのルールに準じた書き方に順応していく形になる。オーパックの状況は従来型の前提で作業しているが、電子図書館が稼働すれば、2018 年版の目録ルールの具体的な意味合いが作業の過程で体感できると思う。
図書館船については、図書館はイベントをした方が良いと思う。瀬戸内なら広島県が図書館船をだしていた。雑誌の「せとうちぐらし」で特集をしていた。他にも図書館船関連の本があるなら、イベントするときブックフェアなど展示をしても良いと思う。紙芝居もお披露目できるのではないかな。
- ・委員 電子図書館について、県の学校司書の先生が実際に触れる機会は作れないか。
- ・事務局 学校から要望があれば、説明もできると思う。
- ・委員 市内にある県立高校の学校司書の先生を一堂に集めてできるか。どういったニーズがあるかわからない。中央図書館を中心とした組織ができたら良いと思う。
- ・委員 丸亀市内の学校司書研修会は定期的で開催されている。
- ・事務局 高校までは把握できていない。小中学校は学校司書の先生が定期的に会を設けられていて、研修会に参加し、図書館の利用について説明している。高校は学校司書の会はあるのか？もし集まる機会があればその場で説明できる。
- ・委員 市単位での集まりはない。県単位になる。
- ・事務局 高等学校連盟の方でご了承いただければ、司書の先生方と日程調整して図書館がお伺いし説明することが可能である。

12. その他 特になし

13. 閉会

14. 事務連絡

- ・事務局 特になし